



一般社団法人 日本老年歯科医学会 第33回学術大会

セミナー名：ランチョンセミナー2

日時：6月11日（土）

会場：第2会場 5F能楽堂

演題名：超高齢社会における
S-PRGフィラー含有歯科材料への期待

演者：猪越 正直 先生

東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科
高齢者歯科学分野

開催形式：【現地開催】【ライブ配信】【オンデマンド配信】を組み合わせた
「スーパーハイブリッド方式」



抄録：

超高齢社会を迎えた日本においては、今後も高齢者人口の増加が予想されている。日本だけでなく、この傾向は世界的に見ても同様である。日本の義歯装着者数の割合は減少しているものの、高齢者数の増加により、今後も臨床では義歯の需要は見込まれると考えられる。高齢者においては、義歯装着やセルフケアの困難さ等から、口腔内環境の悪化が認められるケースが多くある。

株式会社松風が開発したSurface reaction-type Pre-Reacted Glass-ionomer (S-PRG) フィラーは、多機能性ガラス（フルオロボロアルミノシリケートガラス）に対して微細化処理、及び多孔質ガラス化表面処理を施した後、ポリアクリル酸水溶液と反応させることで、安定化したガラスアイオノマー相をガラスコアの表層に形成させた3層構造を持つバイオアクティブ新素材として注目されている。S-PRGフィラーは、ストロンチウムイオン、ナトリウムイオン、ホウ酸イオン、アルミニウムイオン、ケイ酸イオン、フッ化物イオンといった6種類のイオンを徐放することにより、歯質強化能、酸緩衝能、抗菌効果を示すことが文献的に明らかとなっている。このようなバイオアクティブなS-PRGフィラー含有歯科材料を用いた高齢者の口腔内環境改善が期待される。

我々はこれまで、セメント、義歯安定材、ティッシュコンディショナーといった材料に、S-PRGフィラーを添加し、その物性を評価してきた。特に、S-PRGフィラー含有義歯安定材やティッシュコンディショナーは抗菌効果を示すことを明らかにしている。

本セッションでは、これらの高齢者歯科分野で応用可能なS-PRGフィラー含有歯科材料のエビデンスについて紹介させていただき、主に抗菌効果に焦点を当てながら、超高齢社会におけるS-PRGフィラー含有歯科材料への期待についてお話しさせていただく予定である。

共催：

一般社団法人 日本老年歯科医学会 第33回学術大会
株式会社松風